第３４号様式（第１４条関係）

特定供給設備の技術上の基準に関する説明書

（バルク供給用）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 特定供給設備所在地 | ※ 図面添付　 |
|  | 貯蔵能力 |  　　　　　　　　　　Ｋｇ |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 項 目 | 条 項規則54条 | 対応事項 |  |
| バルク容　器 | 屋根又は遮へい板 |  19条2号ﾊ |  材料（　　　　　　　　　　　　） ※図面添付 |
| 消火設備 |  19条2号ﾆ |  消火器（Ａ－　　，Ｂ－　　） 本 |
| 液取入バルブ |  19条 1号 | イ |  □カップリング用液流出防止装置の取り付け |
| ガス取出バルブ | ロ |  □ガス放出防止器又は緊急遮断弁の取り付け |
| 液取出バルブ | ハ |  □ガス放出防止器又は緊急遮断弁の取り付け |
| 均圧バルブ | ニ |  □カップリング付き |
| 液面計 | ホ |  □液面計の設置 |
| 過充てん防止装置 | ヘ |  □過充てん防止装置 |
| 附属機器の保護 | ト |  □ふた付きプロテクターでの保護 |
| ガス名等の表示 | チ |  □ＬＰガスの旨及び火気厳禁の朱書き |
| 緊急連絡先の表示 | リ |  □緊急連絡先（　　　　　　　　　　　　　　） |
| 腐しょく防止措置 | ヌ |  □腐しょく防止措置 |
| 転倒転落防止措置 | ル |  □スカート又はサドル等を基礎に設置 |
| 基礎 | ヲ |  □水平かつ地盤面から5cm以上 |
| 車両の接触防止措置 | ワ |  □自動車等車両が接触しない措置 |
| 安全弁の放出管 | カ |  □安全弁の放出管の設置 |
| 漏えい |  19条4号 |  □バルク容器は、漏えいがないものであること｡ |
| 監視システム |  19条5号 |  □ガス漏れ検知器を設け、漏えい情報等を常時監 　視するシステムと接続すること。 |
| 滞留しにくい構造 |  19条6号 |  □バルク容器と調整器の間で液状の液化石油ガス が滞留しにくい措置を講ずること。 |
| 保安距離 |  53条 1号 | イ |  |
|  |  法　　定 |  実　　際 | 緩和の必要性 |
| 第１種 |  ｍ |  ｍ | 有 無 |
| 第２種 |  ｍ |  ｍ |
| 保安距離緩和 | ロ |  障　壁　 □ ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ □ 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 　　　　 □ その他（ ） ※ 図面添付 □ 地盤面下に埋設 |
| 火 気 | ハ |  火気との距離 　 ｍ 隔壁□ 無□ 有 ※ 図面添付 |
|  バルク | 特定設備検査合格証 |  19条3号ｲ | □ 特定設備検査合格証□ 特定設備基準適合証 | ※ 写しを添付 |
| 保安距離 |  2号ﾛ(1) |  | 法　　定 | 実　　際 | 緩和の必要性 |
| 第１種 |  ｍ |  ｍ | 有 無 |
| 第２種 |  ｍ |  ｍ |
|  |  (2) |  障　壁 □ ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ □ 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ |
|  |  貯　槽 | 保安距離緩和 |  2号ﾛ (3) |  □ その他（ ） ※ 図面添付 □ 地盤面下に埋設 |  |
| 火 気 |  2号ﾊ |  火気との距離 ｍ 隔壁□ 無□ 有 ※ 図面添付 |
| 防消火設備 |  2号ﾆ |  消火器 （Ａ－ Ｂ－ ） 本 □ 散水設備 ※ 図面添付 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|   | バルク貯　槽 | 安全弁 |  19条 3号ﾊ | １ |  □ 安全弁の設置 |  |
| 液面計 | ２ |  □ 液面計の設置 |
| 過充てん防止装置 | ３ |  □ 過充てん防止装置 |
| 液取入弁 | ４ |  □ カップリング用液流出防止装置の取り付け |
| ガス取出弁 | ５ |  □ ガス放出防止器又は緊急遮断弁の取り付け |
| 液取出弁 |  19条 3号ﾊ | ６ |  □ ガス放出防止器又は緊急遮断弁の取り付け |
| 均圧弁 | ７ |  □ カップリング付き |
| 付属機器の保護 | ８ |  □ ふた付きプロテクターでの保護 |
| ガス名等の表示 | ９ |  □ ＬＰガスの旨及び火気厳禁の朱書き |
| 緊急連絡先の表示 | 10 |  緊急連絡先（　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 腐しょく防止措置 | 11 |  腐しょく防止措置（　　　　　　　　　　　　） |
| 底部腐しょく等防止措置 | 12 |  底部腐しょく防止措置( ) 転倒防止措置(　　　　　　　　　　　　　　 ) |
| 漏えい |  19条4号 | □ バルク貯槽は、漏えいがないものであること｡ |
| 監視システム | 19条5号 |  □ ガス漏れ検知器を設け、漏えい情報等を常時 監視するシステムと接続すること。 |
| 滞留しにくい措置 | 19条6号 |  □ バルク貯蔵と調整器の間で液状の液化石油ガ スが滞留しにくい措置を講ずること。 |
| 地盤面上バルク貯槽 |  19条 3号ﾆ | １ | 基礎 |  □水平□地盤面から５㎝ □不同沈下防止措置 |
| 地盤面上バルク貯槽 |  19条 3号ﾆ | ２ |  □ 自動車等車両が接触しない措置 |
| ３ |  □ アンカーボルト等での固定 |
| ４ |  □ 大地と電気的に接続 |
| ５ |  □ 放出管の設置 |
| 地盤面下バルク貯槽 |  19条 3号ﾎ | １ |  □ 貯槽の頂部は３０㎝以上地盤面から下にある こと。 |
| ２ |  □ 自動車等車両乗り入れ防止措置 |
| ３ |  □ 地下水による浮き上がり防止措置 |
| ４ |  □ 埋設での石塊等のない土又は砂の使用 |
| ５ |  □ ガス検知用の孔あき管の設置 |
| ６ |  □ 標識杭の設置 |
| ７ |  □ ５㎝以上の不燃性の断熱材を用いた裏当 |
| 貯槽地下埋設 |  ２号 チ | １ |  □ 貯槽室 　□ 乾燥砂 □ 水没 □ 強制換気 □ その他（ ） □ 貯槽の頂部は３０㎝以上地盤面から下にある こと。 □ 貯槽間距離（ ｍ） |
| 貯槽間距離 | ２ |  |  法　　定 |  実　　際 |  緩和の必要性 |
|  距　離 |  ｍ |  ｍ |  有　 無 |
|  □ 水噴霧装置 |
| 不同沈下の防止 | ３ |  □ 貯槽の基礎は、不同沈下等により有害なひず みが生じないものであること。 |
|
|  |  |   |  |  |  □ 同一の基礎に緊結。 |  |
| 冷却用散水装置 | ４ |  □ 冷却用散水装置の設置 操作位置距離 ｍ ※図面計算書添付 |
| 静電気の防止 | ５ |  □ 貯槽には、静電気を除去する措置を講ずるこ と。 |
| 耐震設計 | ６ |  □ 耐震設計の基準により、地震の影響に対して 安全な構造とすること。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| バルク容　器・バルク貯　槽 | 発生能力等 | 18条4号 |  □ 貯蔵設備は最大使用数量に対応するものであ 　 ること。 □ 気化装置及び調整器は最大消費数量に対応で 　 きる能力があること。（規格は別表） |
| 腐しょく・割れ等 | 18条5号 |  □ バルプ、集合装置、供給管、ガス栓は、使用 上支障のある腐しょく・割れ等がないもので あること。 |
| 腐しょく防止措置 | 18条6号 |  名　称 |  使用材料 |  腐しょく防止の方法 |
|  バルブ |  |  |
|  集合管 |  |  |
|  供給管 |  |  |
|  継手類 |  |  |
| 使用材料 |  18条7号 | 前表のとおり |
| 集合装置等の修理 | 18条8号の2 |  イ |  □ 漏えい防止措置を講ずること。 |
|  ロ |  □ 漏えいしていないことを確認をすること。 |
|  ハ |  □ 修理終了後、漏えい確認をすること。 |
| 漏えい試験 | 18条10号 |  □ 漏えい試験に合格するもの |
| 気化装置 | 18条19号 |  イ |  □ 腐しょく、割れ等がないもの |  ※ 図 面 別 添 |
|  ロ |  □ ２．６MPaの耐圧試験に合格するもの |
|  ハ |  □ 加熱方式（ ） |
|  ニ |  □ 液状のガス流出防止措置のあるもの |
|  ホ |  □ 凍結防止措置のあるもの |
| 調整器(２次側 有・無) |  18条 20号 |  イ |  □ 腐しょく、割れ等がなく使用する液化石油ガ スの規格に適合したものであること。 |
|  ロ |  使用箇所 |  耐圧試験圧力 |  気密試験圧力 |
|  １次側 |  □ ２．６MPa |  □ １．５６MPa |
|  ２次側 |  □ ０．８MPa |  □ ０．１５MPa |
|  ハ |  □ 調整圧力 　 　　　KPa ～ 　　　KPa □ 閉そく圧力 KPa |
| 緊急遮断装置 |  18条21号 |  □ 供給管と接続した貯蔵施設ごとに、これに近 　 接して緊急遮断装置を設置すること。 　※図面添付 |
| 供給管耐圧試験 |  高圧側 | ４号 | イロ |  □ ２．６MPa以上であるもの |
|  中圧側 |  □ ０．８MPa以上であるもの |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 設備の種類 | 規 格 等 |  |
| バルク容　器・バルク貯　槽 | 貯蔵設備 |  公称貯蔵量（ ）ﾄﾝ 設計圧力（ ）MPa 内容積 （ ）ｍ３ 製造番号（ ） ※図面添付 |
| 気化器 |  型式（ ） 処理能力（ ）Kg／Ｈ 製造番号（ ） 製造年月（ ）年（ ）月 |
|  | 調整器 | 区分 | １次側 | ２次側 |  |
| 型式 |  |  |
| 処理能力 |  Kg／Ｈ |  Kg／Ｈ |
| 製造年月 |  年 月 |  年 月 |

（記載要領）

 １．該当しない欄は抹消すること。

 ２．対応事項は、必要によって別紙に説明書を添付すること。

 ３．該当する□には✔を付し、（ ）には数値又は説明を記入すること。